

宮城県村田高等学校の実践事例

実践名：地域探究活動（CM・広報誌制作）

教科：産業社会と人間（ 1 ）年

1 実施期日（期間） 令和3年8月26日（水）～12月9日（木）

2 志教育との関連
かかわる

- ・様々な人との交流をとおして、コミュニケーション能力を養うとともに、集団や組織の中でよりよい人間関係を築く協調性や社会性を養う。
- ・他の人の考えや意見を参考にしながら、自らの考えを深めていく態度を育てる。

もとめる

- ・自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析してまとめ・表現することができるようにする。

はたす

- ・探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を育てる。

3 具体的な学習・活動の流れ

□ 活動の流れ

- ・8月26日（水）・・・職業人講話及び蔵の町並み見学
講師：村田町役場 まちづくり振興課 佐藤 隆法 様 他
地域のよさと今後の課題について知り、自分たちができることを考える。
- ・9月8日（水）～10月14日（木）・・・CM制作・編集
グループ毎に30秒のCM作品（村田町の魅力をPRするもの）を制作する。
蔵の町並み、スポーツランドSUGO、道の駅、歴史みらい館など、撮影場所も含めて内容を企画する。
優秀な作品はKHB「みやぎふるさとCM大賞」に応募する。
1年次教員、まちづくり振興課、地域おこし協力隊が撮影や移動のサポートを行う。
- ・10月28日（木）・・・CM審査会
制作した作品を発表し合いながら、町の方々による審査を受け、応募作品の選考を見届ける。
- ・11月4日（木）～11月11日（木）・・・お礼の色紙作成
- ・11月18日（木）・・・お礼訪問
- ・11月18日（木）～12月9日（木）・・・広報誌（誌面4ページ分）制作
村田町発行の「広報むらた」2月号に掲載

4 活動の振り返り

今年度の1年次「産業社会と人間」では、地域との連携をより深化させるために、村田町のCMや広報誌の制作という新たな試みにチャレンジしました。各グループとも協力して知恵を絞り、村田町の良いところやPRのしかたなどについて真剣に考え、作品にまとめました。入賞には及びませんでしたが、村田町からも好評をいただき、来年度以降も是非継続をお願いしたいというお話もいただいています。

宮城県村田高等学校の実践事例

実践名：3年間の学び

教科：総合的な探究の時間（3）年

1 実施期日（期間） 令和3年11月10日（水）～令和4年1月26日（水）

2 志教育との関連
かかわる

- ・実社会や実生活と自己の関わりから問いを見だし、調べ学習を進めていく中で、自分の考えや意見を持つようにする。
- ・他の人の考えや意見を参考にしながら、自らの考えを深めていく態度を育てる。

もとめる

- ・自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析してまとめ・表現することができるようにする。

はたす

- ・探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を育てる。

3 具体的な学習・活動の流れ

□ 活動の流れ

- ・11月10日（水）…ガイダンス、構想
今後の活動内容を知り、何について調べるかテーマを絞る。
- ・11月17日（水）
各自／各グループの探究の課題を設定し、学習計画を立てる。
系列ごとに担当の教員が助言指導等を行う。
- ・11月24日（水）
各自／各グループの目標を見定め、仮説を設定する。
系列ごとに担当の教員が助言指導等を行う。
- ・12月1日（水）～1月12日（水）… 探究活動
調べ学習を進め、並行してパワーポイント等にまとめ、発表の準備を行う。
系列ごとに担当の教員が助言指導等を行う。
- ・1月19日（水）… 系列内発表会
系列内で互いの探究成果を発表し合い、年次発表会の代表を選出する。
- ・1月26日（水）… 年次発表会
各系列の代表（各系列3～5名／グループ）が探究成果を発表する。
お互いの学習内容や成果について共有し、相互理解を深める。

4 活動の振り返り

この年次の生徒は、コロナ禍での計画変更に伴い、昨年度（2年次）から時間をかけて探究活動に取り組みました。今年度は探究を更に進め、また各系列での学習成果等について相互に理解するために、年次全体の発表会でプレゼンテーションを行いました。内容もより深まったものが多く見られ、特に優秀な発表としては、「子どもにそそぐ愛情の重要性（介護福祉系列）」「村田の商店街のポスター・CMづくり（商業実践系列）」などがありました。